



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名 江崎グリコ株式会社
 コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月2日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 江崎勝久
 (氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 225,234 | 1.5 | 7,661 | △33.3 | 7,793 | △35.7 | 3,067 | △49.4 |
| 23年3月期第3四半期 | 221,827 | △0.2 | 11,479 | △7.4 | 12,117 | △7.8 | 6,066 | △21.7 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,936百万円 (△62.8%) 23年3月期第3四半期 5,198百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 27.02 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 53.45 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 204,575 | 108,927 | 52.1 |
| 23年3月期 | 194,055 | 108,628 | 54.8 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 106,581百万円 23年3月期 106,257百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 5.00 | — | 10.00 | 15.00 |
| 24年3月期 | — | 5.00 | — | | |
| 24年3月期(予想) | | | | 10.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 289,000 | 1.7 | 5,200 | △48.0 | 5,100 | △51.9 | 1,400 | △63.0 | 12.33 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 144,860,138 株 | 23年3月期 | 144,860,138 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 31,292,528 株 | 23年3月期 | 31,388,967 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 113,499,883 株 | 23年3月期3Q | 113,498,515 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) 重要な後発事象 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災とその後の電力供給制約等の影響から徐々に立ち直りを見せたものの、為替・株価の変動や欧州の政府債務危機等による景気の下振れ懸念、さらにはタイの洪水被害も相まって、引き続き不透明な状況で推移しました。食品業界におきましても、原材料高騰や消費者の節約志向の浸透などにより、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の売上拡大を販売政策の基本としながら、市場を盛り上げる販促対策、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。また、洪水被害を受けたタイの子会社に対して早期の復旧を図るべく尽力いたしました。

その結果、売上高は、畜産加工品部門、冷凍部門が減収となりましたが、菓子部門、食品部門、牛乳・乳製品部門は増収となり、全体では225,234百万円（前年同期比1.5%増）となりました。利益面につきましては、原材料価格のアップや販売品種構成の変化等により売上原価率はアップしました。広告費の減少はありましたが、販売促進費等が増加したことにより、営業利益は7,661百万円（同33.3%減）、経常利益は7,793百万円（同35.7%減）となりました。また、当四半期は投資有価証券評価損を特別損失に計上し、法人税率変更に伴う繰延税金資産の取り崩しを実施したこと等により、四半期純利益は3,067百万円（同49.4%減）となりました。

各セグメント別の売上の状況は、以下のとおりであります。

・売上の状況

（単位：百万円、%）

| | 前第3四半期連結 累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | | 当第3四半期連結 累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | | 増減額 | 対前年 同期比 | (参考) 前連結会計年度 (平成23年3月期) | |
|--------|--|-------|--|-------|--------|------------|-------------------------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | | 金額 | 構成比 |
| 菓子 | 56,841 | 25.6 | 60,475 | 26.9 | 3,634 | 106.4 | 77,461 | 27.3 |
| 冷凍 | 54,716 | 24.7 | 54,223 | 24.1 | △493 | 99.1 | 63,399 | 22.3 |
| 食品 | 17,987 | 8.1 | 19,237 | 8.5 | 1,249 | 106.9 | 24,257 | 8.5 |
| 牛乳・乳製品 | 64,575 | 29.1 | 66,064 | 29.3 | 1,488 | 102.3 | 83,073 | 29.2 |
| 畜産加工品 | 24,099 | 10.9 | 21,489 | 9.5 | △2,609 | 89.2 | 31,071 | 10.9 |
| その他 | 3,607 | 1.6 | 3,744 | 1.7 | 137 | 103.8 | 4,784 | 1.8 |
| 合計 | 221,827 | 100.0 | 225,234 | 100.0 | 3,406 | 101.5 | 284,048 | 100.0 |

<菓子部門>

国内では、「ポッキーグループ」、「ビスコ」、「プリッツグループ」等が前年同期を上回ると共に、新発売の“アーモンドピーク”も順調に売上を伸ばしました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が前年同期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は60,475百万円となり、前年同期(56,841百万円)に比べ6.4%の増収となりました。

<冷凍部門>

“バニラティエ”、“パピコ”、“アイスの実”等は売上を伸ばしましたが、“パナッパ”、“パリッテ”、“ミニセレ”等は、前年同期を下回りました。また、東北の卸売販売子会社は東日本大震災の影響を受け、前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は54,223百万円となり、前年同期(54,716百万円)に比べ0.9%の減収となりました。

<食品部門>

“2段熟カレー”等は前年同期を下回りましたが、“2段熟ハヤシ”が順調に売上を伸ばし、「スナックスープ」も前年同期を上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,237百万円となり、前年同期(17,987百万円)に比べ6.9%の増収となりました。

<牛乳・乳製品部門>

“ドロリッチ”等の洋生菓子及び果汁飲料等は前年同期を下回りましたが、“マイルドカフェオーレ”等は前年同期を上回りました。また、キリンビバレッジ（株）からの業務受託による売上も上乘せとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,064百万円となり、前年同期(64,575百万円)に比べ2.3%の増収となりました。

<畜産加工品部門>

澱粉等の食品原料が前年同期を上回りましたが、ハム・ソーセージ等は、厳しい販売競争に加え、東日本大震災で被害を受けた那須の生産子会社での減産も影響し、前年同期を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,489百万円となり、前年同期(24,099百万円)に比べ10.8%の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は204,575百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,520百万円増加しました。流動資産は92,671百万円となり、11,566百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加、短期資金運用による有価証券の増加、棚卸資産の増加となります。固定資産は111,904百万円となり、1,046百万円減少しました。主な要因は、債券の償還及び評価損の計上による投資有価証券の減少となります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は95,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,222百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金等の仕入債務が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は108,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加、剰余金の配当による減少及びその他有価証券評価差額金の減少となります。この結果、自己資本比率は52.1%（前連結会計年度末比2.7%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月28日に発表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,288 | 17,651 |
| 受取手形及び売掛金 | 28,822 | 32,152 |
| 有価証券 | 15,170 | 18,261 |
| 商品及び製品 | 6,754 | 7,773 |
| 仕掛品 | 631 | 630 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,997 | 11,742 |
| その他 | 5,641 | 4,688 |
| 貸倒引当金 | △201 | △228 |
| 流動資産合計 | 81,104 | 92,671 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 19,414 | 24,350 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 23,316 | 21,847 |
| 土地 | 11,864 | 15,491 |
| その他（純額） | 9,222 | 5,804 |
| 有形固定資産合計 | 63,817 | 67,494 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,863 | 4,034 |
| その他 | 419 | 414 |
| 無形固定資産合計 | 5,283 | 4,448 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 31,278 | 28,153 |
| その他 | 12,714 | 11,946 |
| 貸倒引当金 | △144 | △138 |
| 投資その他の資産合計 | 43,848 | 39,961 |
| 固定資産合計 | 112,950 | 111,904 |
| 資産合計 | 194,055 | 204,575 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,888 | 30,977 |
| 短期借入金 | 6,053 | 6,031 |
| 未払費用 | 18,136 | 18,560 |
| 未払法人税等 | 1,373 | 1,016 |
| 役員賞与引当金 | 90 | — |
| 販売促進引当金 | 1,225 | 1,114 |
| 事業構造改善引当金 | 714 | 667 |
| 災害損失引当金 | 724 | 296 |
| その他 | 4,175 | 9,367 |
| 流動負債合計 | 58,381 | 68,032 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,496 | 11,485 |
| 退職給付引当金 | 10,973 | 10,769 |
| 事業構造改善引当金 | 620 | 620 |
| その他 | 4,955 | 4,739 |
| 固定負債合計 | 27,045 | 27,615 |
| 負債合計 | 85,426 | 95,648 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,773 | 7,773 |
| 資本剰余金 | 7,427 | 7,432 |
| 利益剰余金 | 120,346 | 121,711 |
| 自己株式 | △26,723 | △26,641 |
| 株主資本合計 | 108,824 | 110,275 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △463 | △1,338 |
| 繰延ヘッジ損益 | △346 | △244 |
| 為替換算調整勘定 | △1,755 | △2,111 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,566 | △3,694 |
| 少数株主持分 | 2,370 | 2,345 |
| 純資産合計 | 108,628 | 108,927 |
| 負債純資産合計 | 194,055 | 204,575 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 221,827 | 225,234 |
| 売上原価 | 124,351 | 128,629 |
| 売上総利益 | 97,476 | 96,605 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 20,016 | 20,458 |
| 販売促進費 | 26,081 | 28,761 |
| 広告宣伝費 | 9,047 | 8,255 |
| 貸倒引当金繰入額 | 125 | 30 |
| 退職給付引当金繰入額 | 860 | 1,143 |
| その他 | 29,864 | 30,293 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 85,996 | 88,943 |
| 営業利益 | 11,479 | 7,661 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 227 | 198 |
| 受取配当金 | 610 | 650 |
| その他 | 760 | 787 |
| 営業外収益合計 | 1,598 | 1,636 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 178 | 170 |
| 為替差損 | 123 | 202 |
| その他 | 657 | 1,131 |
| 営業外費用合計 | 960 | 1,504 |
| 経常利益 | 12,117 | 7,793 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券償還益 | — | 118 |
| その他 | 10 | 3 |
| 特別利益合計 | 10 | 122 |
| 特別損失 | | |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 173 | — |
| 減損損失 | 1,380 | 160 |
| 事業構造改善引当金繰入額 | 981 | — |
| 投資有価証券評価損 | 30 | 1,012 |
| 貸倒引当金繰入額 | 60 | — |
| その他 | 17 | 95 |
| 特別損失合計 | 2,643 | 1,269 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 9,483 | 6,646 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,575 | 2,408 |
| 法人税等調整額 | △451 | 970 |
| 法人税等合計 | 3,124 | 3,379 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,359 | 3,267 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主利益 | 292 | 200 |
| 四半期純利益 | 6,066 | 3,067 |
| 少数株主利益 | 292 | 200 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,359 | 3,267 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | △728 | △874 |
| 繰延ヘッジ損益 | 109 | 102 |
| 為替換算調整勘定 | △541 | △558 |
| その他の包括利益合計 | △1,160 | △1,331 |
| 四半期包括利益 | 5,198 | 1,936 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,905 | 1,939 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 292 | △2 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注)3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|------------|-----------|---------|-------------|---------|-------------|--------------------------------------|
| | 菓子 | 冷菓 | 食品 | 牛乳・ 乳製品 | 畜産加 工品 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 56,841 | 54,716 | 17,987 | 64,575 | 24,099 | 218,220 | 3,607 | 221,827 | - | 221,827 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | - | - | - | 66 | 193 | 260 | 3,611 | 3,872 | △3,872 | - |
| 計 | 56,841 | 54,716 | 17,987 | 64,642 | 24,292 | 218,480 | 7,219 | 225,699 | △3,872 | 221,827 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,160 | 5,402 | 336 | 1,602 | 401 | 9,903 | △125 | 9,777 | 1,701 | 11,479 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、新素材部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,701百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額508百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,193百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

菓子部門において、生産拠点の再構築に伴う工場の閉鎖を決定したことにより、該当資産について合理的に見積もられる額を減損損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,332百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額 (注)3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|------------|-----------|---------|-------------|---------|-------------|--------------------------------------|
| | 菓子 | 冷菓 | 食品 | 牛乳・ 乳製品 | 畜産加 工品 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 60,475 | 54,223 | 19,237 | 66,064 | 21,489 | 221,490 | 3,744 | 225,234 | - | 225,234 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1 | - | - | 139 | 99 | 241 | 2,093 | 2,334 | △2,334 | - |
| 計 | 60,477 | 54,223 | 19,237 | 66,204 | 21,588 | 221,731 | 5,837 | 227,569 | △2,334 | 225,234 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,547 | 5,320 | 584 | 934 | △297 | 8,088 | △87 | 8,000 | △339 | 7,661 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、新素材部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△339百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額265百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△604百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

平成23年10月に発生いたしましたタイの洪水により、当社グループの現地法人において、主に建物及び生産設備、棚卸資産等で被害を受けました。当該会社は保険に加入しておりますが、洪水の被害額及び保険金額については、現在算定中であります。